

中学歴史プリント（過去問類似）

平安時代

名前

得点

/9

問1 福島県は、地形や歴史的背景から「会津」「中通り」「浜通り」の3つの地域に大別されます。このうち、太平洋に面した浜通り地方に位置し、平安時代末期に奥州藤原氏の縁者によって建立された国宝「白水阿弥陀堂」がある都市を選びなさい。 (2018年 福島県公立入試 類似)

1. いわき市 2. 福島市 3. 郡山市 4. 会津若松市

問2 平安時代初期に最澄や空海によって広められた仏教が、それまでの奈良時代の仏教（南都六宗）と比較して持っていた特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川公立入試 類似)

1. 政治から離れ、人里離れた山中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した 2. 国家の保護を強く受け、都に巨大な大仏や国分寺を建立して国を治めようとした 3. 読み書きができない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説いた 4. 武士の精神的支柱として、座禅を組むことで悟りを開こうとした

問3 歴史上の記録によると、9世紀のはじめに東北地方の指導者であった「人物X」が、朝廷から派遣された「人物Y」に降伏したという事実が記されています。この「人物X」と「人物Y」の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)

1. 人物X：アテルイ — 人物Y：坂上田村麻呂 2. 人物X：蘇我馬子 — 人物Y：聖徳太子 3. 人物X：中大兄皇子 — 人物Y：中臣鎌足 4. 人物X：物部守屋 — 人物Y：蘇我入鹿

問4 7世紀半ば、中大兄皇子らによって行われた「大化の改新」と呼ばれる一連の政治改革において、それまでの豪族による支配を改め、土地と人民を国家の所有とした方針を何と呼びますか。 (2018年 高知公立入試 類似)

1. 公地公民 2. 鎮護国家 3. 外戚政治 4. 封建制度

問5 平安時代の政治の変遷を整理した際、藤原道長が摂政となった時期を含む「摂関政治」の全盛期に関する説明として、時期や人物の関係が正しいものを次の中から選びなさい。 (2022年 愛媛公立入試 類似)

1. 藤原道長は、自分の3人の娘を次々と天皇の后に入れることで、盤石な地位を築いた。 2. 藤原道長は、武士の力に対抗するため、檢非違使を廃止して自分の私兵を公的な軍隊とした。 3. 藤原道長は、菅原道真を太宰府に左遷することで、他氏排斥を完了させて摂政に就任した。 4. 藤原道長は、平清盛の娘を天皇の后に迎える仲立ちをすることで、武家との連携を強めた。

問6 歴史博物館の展示において、日本の原始・古代の締めくくりとして紹介される重要な出来事に「794年の遷都」があります。奈良の平城京から都を移し、現在の京都市にあたる平安京を築いた天皇は誰ですか。 (2014年 愛媛公立入試 類似)

1. 聖武天皇 2. 桓武天皇 3. 天智天皇 4. 推古天皇

問7 藤原道長を中心とした当時の家系図を見ると、道長の娘たちは一条天皇、三条天皇、後一条天皇、後朱雀天皇らと婚姻関係にあり、次々と皇子をもうけています。このような婚姻を通じた政治体制において、天皇が幼少の間に、天皇に代わって政治を行う職を何と呼びますか。 (2025年 岡山公立入試 類似)

1. 摂政 2. 関白 3. 太政大臣 4. 征夷大將軍

問8 平安時代初期、坂上田村麻呂が任命された「征夷大將軍」という役職の、当時の本来の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 東北地方で朝廷の支配に抵抗する蝦夷を鎮圧し、勢力圏を広げるため 2. 鎌倉に幕府を開き、全国の守護や地頭を統制して武家政治を行うため 3. 京都の治安維持を担う檢非違使を指揮し、貴族の身边を警護するため 4. 元（モンゴル帝国）などの大陸勢力による侵攻に備え、九州の防衛を固めるため

問9 平安時代初期、最澄が比叡山に延暦寺を建てて開いた天台宗や、空海が高野山に金剛峯寺を建てて開いた真言宗に共通する、当時の仏教の傾向として最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口公立入試 類似)

1. 政治から距離を置くために、人里離れた山の中で厳しい修行を行うことを重んじた。 2. 文字が読めない庶民のために、踊りを通じて教えを広めることを重視した。 3. 貴族の権力を抑えるために、奈良の都を中心に政治を直接動かすことを目的とした。 4. 戦乱に苦しむ人々を救うために、念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けると説いた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 いわき市	白水阿弥陀堂は福島県いわき市に所在する平安時代末期の建築物です。いわき市は太平洋沿岸の「浜通り地方」に属しています。一方、県庁所在地の福島市や交通の要所である郡山市は「中通り地方」、鶴ヶ城で知られる会津若松市は「会津地方」に位置しており、福島県の地域区分を理解することが重要です。
問2	答え 1 政治から離れ、人里離れた山の中の寺院で厳しい修行を行うことを重視した	奈良時代の仏教が政治と密接に関わり、都にある東大寺などの寺院が権力を持っていたのに対し、平安時代初期の天台宗（最澄）や真言宗（空海）は、比叡山や高野山といった山の中に寺を建て、世俗から離れて修行することを重んじました。念仏による救済は鎌倉新仏教、座禅は鎌倉時代の禅宗の特徴です。
問3	答え 1 人物X：アテルイ — 人物Y：坂上田村麻呂	平安時代初期、桓武天皇は東北地方への支配を拡大するため、大規模な軍勢を派遣しました。この時、東北で抵抗を続けていた蝦夷（えみし）のリーダーがアテルイであり、朝廷から「征夷大將軍」として派遣され、最終的にアテルイを降伏させたのが坂上田村麻呂です。田村麻呂はアテルイの武勇を認め、朝廷に命を助けるよう嘆願しましたが、受け入れられずアテルイは処刑されました。
問4	答え 1 公地公民	中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足は、蘇我氏を倒した後に唐の律令制度を模範とした改革を進めました。それまで豪族が私有していた土地（田荘）や人民（部民）を国家が直接支配する「公地公民」の原則を打ち出し、天皇中心の中央集権国家の確立を目指しました。
問5	答え 1 藤原道長は、自分の3人の娘を次々と天皇の后に入れることで、盤石な地位を築いた。	藤原道長は、長女の彰子をはじめとする3人の娘を順次天皇の后（一和三后）とすることに成功し、複数の天皇の外祖父となることで長期にわたる独裁的な権力を手に入れました。菅原道真を排斥したのは道長より以前の藤原時平の時代であり、平清盛は道長より後の時代に、藤原氏の摂関政治を模倣して権力（武家政治への過渡期）を握った人物です。
問6	答え 2 桓武天皇	奈良時代末期の政治の乱れを立て直すために、784年の長岡京遷都に続き、794年に山背国の平安京へと都を移しました。この遷都から鎌倉幕府が成立するまでの約400年間は平安時代と呼ばれます。聖武天皇は奈良時代の平城京で大仏を建立した天皇であるため、混同に注意が必要です。
問7	答え 1 摂政	藤原道長は、4人の娘を次々と天皇の后にすることで、3人の天皇の祖父となることに成功しました。このように天皇の母方の親戚（外戚）として、天皇が幼い時に代わって政治を行う職を「摂政」と言います。天皇が成長した後に、天皇を補佐して政治を行う職は「関白」と呼ばれます。
問8	答え 1 東北地方で朝廷の支配に抵抗する蝦夷を鎮圧し、勢力圏を広げるため	征夷大將軍は、もともとは「東方の夷（えびす）を征討する大將軍」という意味であり、平安時代初期には東北地方の蝦夷を服従させるための臨時の官職でした。のちに源頼朝がこの職に就いて以降、武士の棟梁（リーダー）としての意味合いが強まり、幕府の首長を指す言葉へと変化していきました。
問9	答え 1 政治から距離を置くために、人里離れた山の中で厳しい修行を行うことを重んじた。	奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、平安時代初期に登場した最澄（天台宗）や空海（真言宗）は、山の中に寺院を建てて厳しい修行に励むスタイルをとりました。これを山岳仏教と呼びます。選択肢にある念仏による救済や踊念仏は、のちの鎌倉時代に広まった仏教の特徴です。